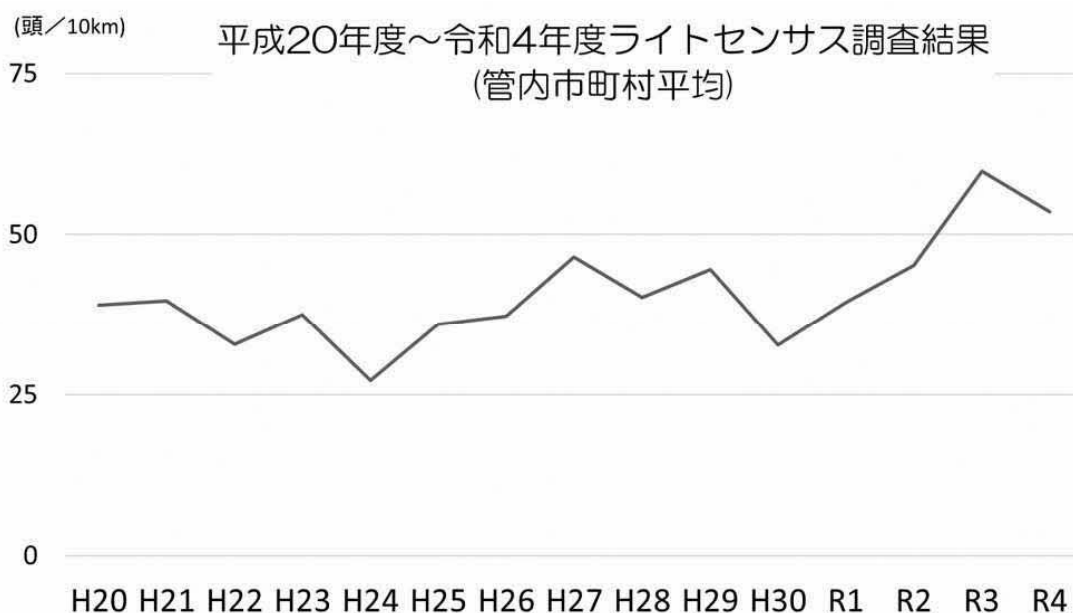


留萌振興局管内のエゾシカ対策の現状について

資料7-1

◆ライトセンサス調査

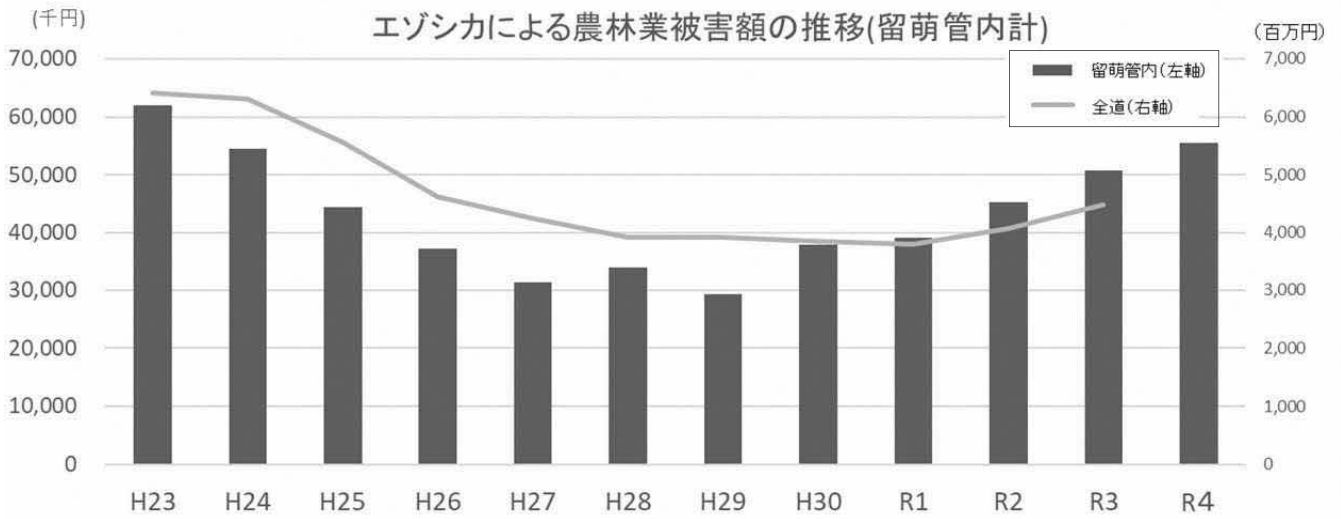


ライトセンサス調査結果の推移（農耕地コース 10km走行当たり確認頭数）

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
振興局平均	39.0	39.6	32.9	37.5	27.3	36.0	37.3	46.5

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
振興局平均	40.3	44.5	32.8	39.5	45.3	59.9	53.5

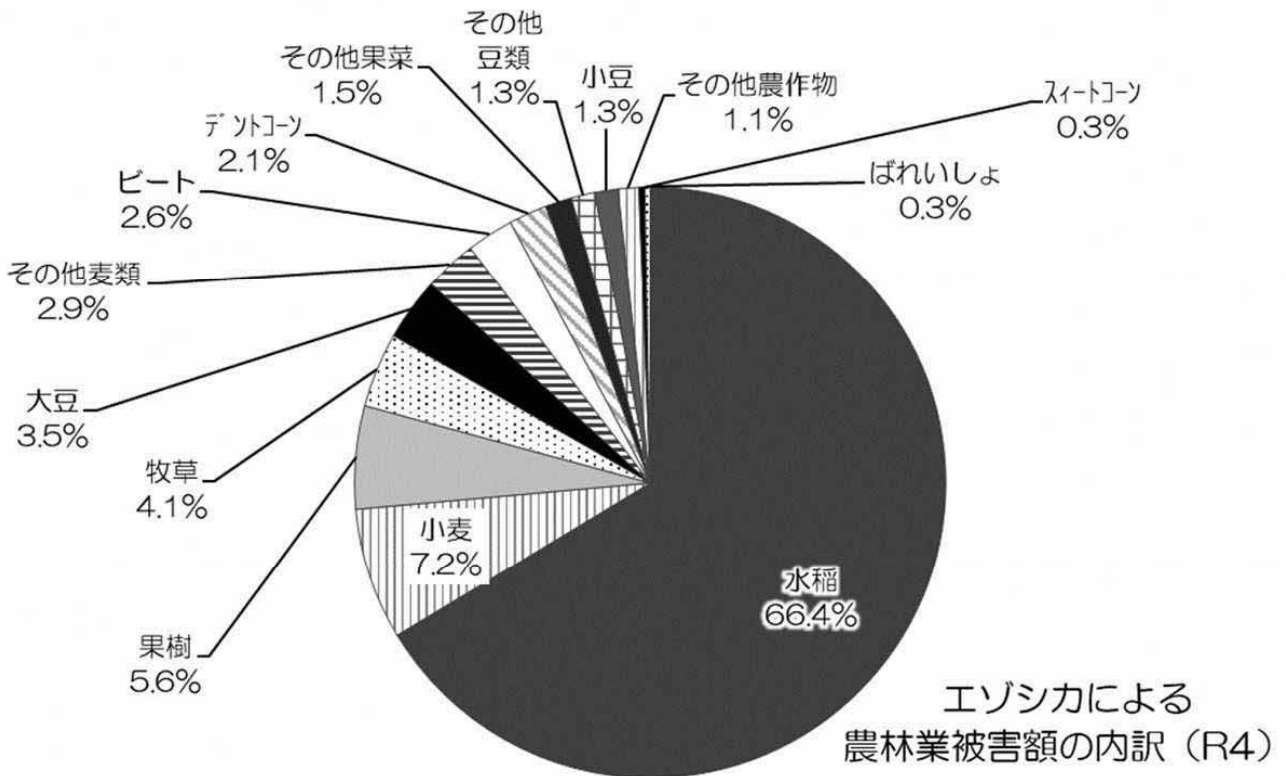
◆農林業被害額



市町村別被害額 (千円)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
振興局計	61,990	54,432	44,352	37,219	31,320	33,853

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
振興局計	29,199	37,876	39,166	45,201	50,678	55,567

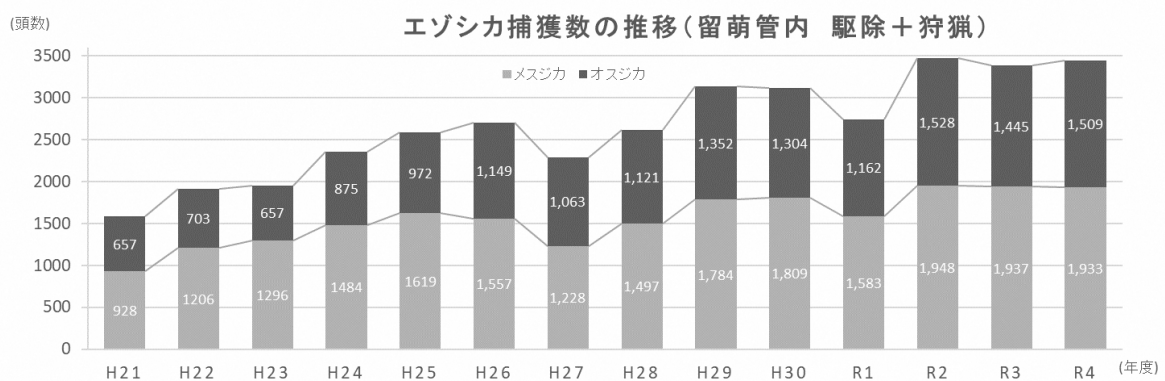


◆エゾシカ捕獲推進プラン 許可捕獲目標達成状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	捕獲数	メス比率	捕獲数	メス比率	捕獲数	メス比率
管内合計	2,748	54.4%	2,748	56.0%	3,026	56.3%
プラン目標数	2,500	54.0%	3,900	54.0%	3,900	54.0%
達成率	110%	0.4%	70%	2.0%	78%	2.3%

※令和5年度捕獲目標数：4,700頭

◆捕獲数

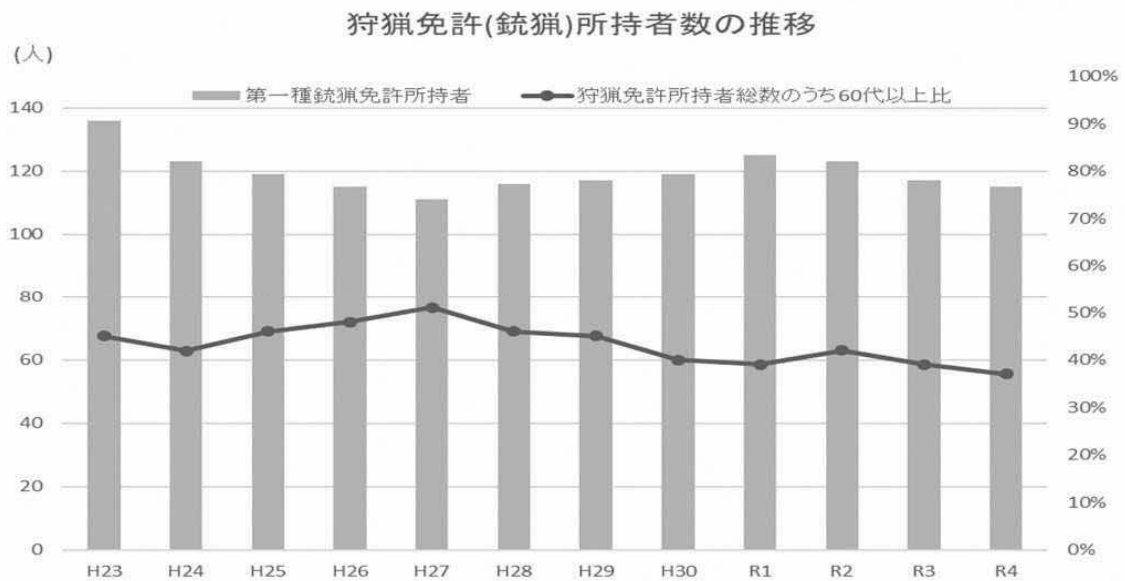


(参考)管内における許可・狩猟捕獲頭数計(属地)

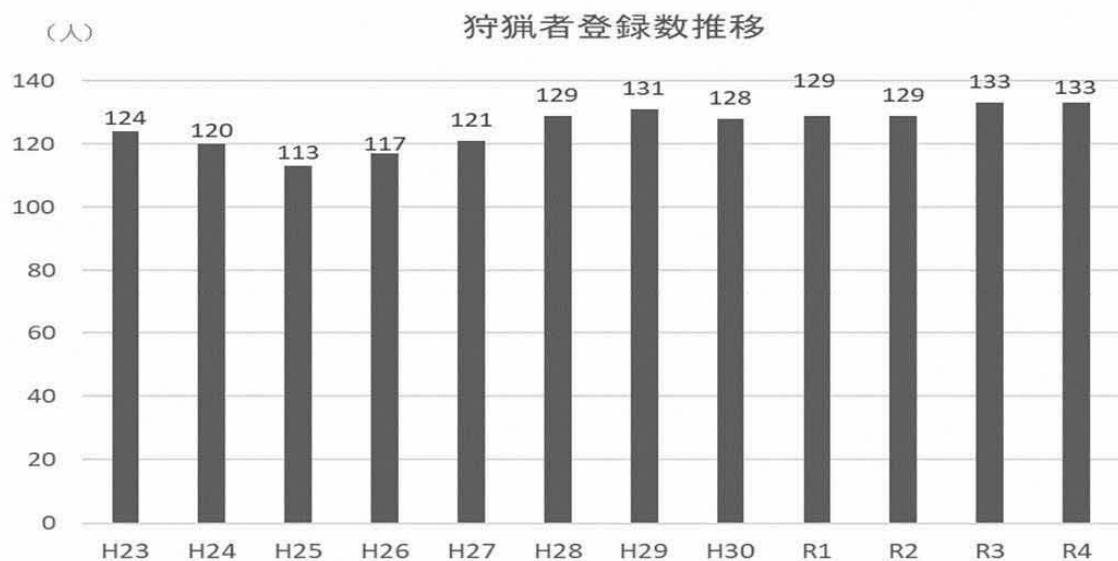
年度等	H21			H22			H23			H24			H25			H26			H27		
	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計
振興局計	657	928	1585	703	1206	1909	657	1296	1953	875	1484	2359	972	1619	2591	1,149	1,557	2,706	1,063	1,228	2,291

年度等	H28			H29			H30			R1			R2			R3			R4		
	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計	オスジカ	メスジカ	計
振興局計	1,121	1,497	2,618	1,352	1,784	3,136	1,304	1,809	3,113	1,162	1,583	2,745	1,528	1,948	3,476	1,445	1,937	3,382	1,509	1,933	3,442

◆狩猟免許所持者・狩猟登録数



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
第一種銃猟免許所持者	136	123	119	115	111	116	117	119	125	123	117	115
狩猟免許所持者総数のうち60代以上比	45%	42%	46%	48%	51%	46%	45%	40%	39%	42%	39%	37%



狩猟者登録数

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
網猟	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1
わな猟	12	17	14	20	20	25	27	27	25	24	31	30
第1種銃猟	112	103	99	97	101	104	102	99	104	105	101	102
第2種銃猟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	124	120	113	117	121	129	131	128	129	129	133	133

留萌振興局管内におけるエゾシカ対策について

1 エゾシカ一斉捕獲

道では、エゾシカの適正な個体数管理を推進し、捕獲目標数を達成させるため、北海道エゾシカ対策推進条例に基づき、2月から3月を「一斉捕獲推進期間」として設定し、関係機関等との連携・協力のもと、期間・地域・人員等を集中した効率的な捕獲事業を推進しています。

(1) 令和4年度 留萌管内実施結果

- 実施時期：2月～3月（各市町村毎に実施日を決定）
- 実施箇所：管内一円
- 実施方法：各市町村が期間・地域・捕獲方法・参加人員等を予め計画して実施。

市町村	計			従事者数	参考 R3の捕獲数
	捕獲数	オス	メス		
管内合計	269	82	187	130	252

(2) 令和5年度 留萌管内のエゾシカ一斉捕獲の実施について

- 実施時期：2月～3月

エゾシカの個体数を減らすためには、子を産み個体数を増やすメスジカを積極的に捕獲することが何より効果的です。一斉捕獲推進期間である2月～3月はメスが捕獲されやすい時期であり、本時期に捕獲を強化・推進いただくことにより、効率的な個体数削減が図られると考えております。

隣接市町村による広域捕獲を含め、多くの市町村の皆様のご参加、ご協力が不可欠となりますので、引き続き積極的な市町村の参加をお願いします。

2 留萌振興局によるエゾシカ捕獲事業

環境省の交付金である指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を利用し、令和4年度より小平町を対象に捕獲事業を行っています。事業目的は、強風多雪地域における「わな」を使った捕獲手法の実践及び検証であり、令和4年度は囲いわなを使用し、令和5年度は囲いわなとくくりわなの両方を使って捕獲を実施します。

事業名	事業内容	実施場所	猟法	委託先	交付金
エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業（効果的捕獲促進事業）	■ これまで実施されていない効果的な捕獲手法の技術開発を行うもの	小平町 大楸・花岡	囲いわな くくりわな	認定鳥獣捕獲等事業者等	指定管理鳥獣捕獲等事業交付金（環境省）

主 な 検 証 内 容

【罠いわな】

- 冬場にエゾシカが滞留していると想定される常緑針葉樹林内（トドマツ林内等）から罠いわなまでの間に、誘引餌を効果的に配置することによる効果的な誘引方法の検証を行う。
- 罠いわなのパネルを取り払うなど、多雪強風地域であることを考慮したわなを設計する。

【くくりわな】

- 冬場にエゾシカが滞留していると想定される常緑針葉樹林内（トドマツ林内等）と冬場にシカが利用している移動経路上を中心に、くくりわなを仕掛け、その捕獲効果の検証を行う。また、くくりわなについては、捕獲状況や積雪等の状況により、設置箇所を変更しながら、効率的に捕獲可能な運用方法の検証を行う。

【罠いわな・くくりわな 共通事項】

- スノーモービル等を用いたわなの点検及び管理を実施し、労力軽減効果の検証を行うとともに、スノーモービル等による轍が、誘導路としての効果を有するか検証を行う。
- 積雪状態や天候等、時期に応じて、罠いわなとくくりわなを使い分けることにより、捕獲効率上がるか検証を行う。